

東日本大震災の復興支援活動

2011年3月11日に発生した東日本大震災。カシオは被災者の救済及び被災地の復旧、復興に役立てていただくため、支援金の拠出や物資の提供、社員の派遣などさまざまな支援活動を行ってきました。

復興支援の取り組み

従業員の派遣

被災地支援ボランティア

2011年10月に、カシオグループ社員23名が宮城県七ヶ浜町にてボランティア活動を実施。参加者は、土のうの作成、海岸線の道路整備作業、倒壊した民家の屋根瓦の除去・回収作業に汗を流しました。また、地域の土産物センターでの買い物など、復興支援のための消費活動も行いました。

2012年4月には、新入社員研修の一環として、カシオ計算機と山形カシオの新入社員35人が、七ヶ浜でボランティア活動を実施。用水路沿いの土地に埋まっているがれきを掘り起こし、分別して整地する作業を実施しました。



新入社員全員が力をあわせて作業しました

出前授業の実施

2011年12月に宮城県の気仙沼市立小原木中学校、2012年3月には気仙沼市立馬籠小学校にて、全校生徒に対し命のつながりについての出前授業を行いました。授業後、生徒たちからは「命とこれからどう向き合ったらよいのかがよく分かった」、「命への視点の持ち方で生き方が変わる。このことに気づけた」、「命の大切さがよく分かった」などの感想が寄せられました。



対話を重視した授業は、緊張感の中にも場面々々で共感が生まれ、予定を超過し2時間に渡りました

支援物資の提供

支援物資	数量	主な支援先	備考
置時計	9,600	仮設住宅居住者など	
電卓／関数電卓	2,150	被災学校、教職員など	
ネームランド	300	官公庁、被災企業など	
GPSデジタルカメラ	100	県市町村災害対策本部、人道支援NGO／NPO	
電子ピアノ	80	被災学校	渡辺音楽文化フォーラムとの共同寄贈
デジタルカメラ	70	被災幼稚園、心のケアを行うNPO	
E C R	30	南三陸町仮設商店街	

南三陸町の仮設商店街を支援

東日本大震災で津波の甚大な被害を受けた宮城県南三陸町に、仮設商店街「南三陸さんさん商店街」が2012年2月25日にオープンし、カシオは入居する全30店舗にレジなどを寄贈しました。開店前にはカシオの社員がレジの設定や使い方の指導等の応援も行いました。



店舗に寄贈されたレジ

南三陸志津川福興名店街運営組合（南三陸さんさん商店街）組合長 及川善祐さんからのメッセージ

南三陸町では、津波で家屋の6割が流失・被災しました。商店の復興が町の復興になるとの思いで紆余曲折がありながら、志津川地区では30店舗が入居する大規模な仮設商店街「南三陸志津川福興名店街（南三陸さんさん商店街）」を2012年2月25日にオープンすることができました。

店舗の建設は国の支援がありましたが、店舗内は自前です。オープンにあたり、全国から多くのご支援をいただきました。カシオ様からは全店舗に最新レジと電卓を寄付いただきました。ハードだけでなく、店舗ごとのメニュー設定や使用方法の指導までしていただきました。あらためてカシオ様には御礼申し上げます。

商店街の周辺は住宅が流失して住民が少なく、集客が課題です。カシオ様には南三陸の豊かな魚介類を全国の方に購入いただけるような仕組みづくりや、情報発信について今後ともご支援いただけると幸いです。



カシオグループからの義援金、支援金

寄付先	金額	備考
ジャパンプラットフォーム	7,700万円	
あしなが東日本大地震・津波遺児募金	500万円	2012年度より、200万円×10年
CIPAフォトエイド	100万円	
米国赤十字社	\$30,800	Gショックのバンド部分に日の丸を配した特別モデルを販売し、その売上高全額を寄付（カシオアメリカ）

カシオグループ社員募金

寄付先	金額	備考
日本赤十字社、JAM	1,058万円	

その他

OCEANUS presents 夜ジャズ 東北地方太平洋沖地震チャリティーイベント

2011年3月26日に東北地方太平洋沖地震チャリティーイベントとして行われた「OCEANUS presents 夜ジャズ」。当日のチケット料金全額と、当日会場で集まった義援金募った募金は日本赤十字社を通じ、被災地義援金として寄付致しました。

「復興の狼煙」ポスター展の開催

2012年3月に東日本大震災から1年目の節目を迎えるに当たり、東北の現状や新たに立ち上がろうとする人々の様子をお伝えすることによって、改めて東北のことを考えていただく機会を提供することは意義あることと考え、カシオは、「復興の狼煙」ポスタープロジェクトに賛同。

カシオ計算機本社、羽村技術センター及び山形カシオにおいて「復興の狼煙」ポスター展を開催しました。



今後の被災地支援について

カシオグループは今後、当グループの重要な社会貢献活動のテーマのひとつである「次世代育成」の一環として、震災孤児への支援や被災児童・生徒の心のケアに軸足を置いた支援活動を継続して行っています。